

令和8年度(7年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立西公民館					
職員数		8名(内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	11.0Km ²	人口	14.3千人		
施設	開館年度	令和2年度(旧施設は昭和48年度)		構造	RC一部鉄骨造2階建		
	延床面積	991.04m ²		敷地面積	2,645m ²		
	室名	■集会室A ■集会室B ■集会室C ■集会室D ■多目的ホール					
【単位:千円】		5年度 決算額	6年度 決算額	7年度 決算額	8年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,915	2,888	2,824	3,139		
	参加者負担金	76	117	103	100		
	軽印刷その他雑入	185	195	177	279		
	計	3,176	3,200	3,104	3,518		
支出	活動費(0101)		144	192	150	194	
	維持管理費(0102)		6,348	7,072	7,471	10,516	
	事務費 (0103)	人件費	10,641	13,149	15,402	16,590	
		その他	637	674	622	777	
	計		17,770	21,087	23,645	28,077	
	営繕工事費(0200)		0	0	0	0	
利用状況等	指標名		5年度 実績値	6年度 実績値	7年度 実績値	8年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	38,157	41,687	44,259	44,500	
		利用件数	3,212	3,410	3,501	3,550	
		利用日率	91.4%	93.8%	91.7%	94.0%	
	事業	事業日数	122	128	134	125	
		参加者数	5,688	6,540	6,719	6,750	
	図書室	利用者数	5,746	5,291	5,412	5,500	
	連絡所	住民票等取扱件数	—	—	—	—	
令和7年度方針		令和7年度の西公民館運営方針として、地域住民の教養の向上及び健康の増進を図るとともに、地域住民同士の交流を図るため、次の7項目を掲げた。 1 地域に開かれた公民館を目指し、誰もががつどい、学び合い、ふれあう環境の整備に努めます。 2 地域の人々の生活課題を解決するための情報提供及び学習活動への支援・助言に努めます。 3 各種団体やサークル活動の支援に努めます。 4 ロビーワークを重視した運営の展開に努めます。 5 複合施設の優位性を生かしながら施設の円滑な管理運営に努めます。 6 西・上地区の公民館との連携・協働の強化に努めます。 7 学校や地域の関係団体、ボランティア等との連携のもと、子どもたちの学習や体験、交流の場の提供に努めます。					
令和7年度改善事項		主な改善点 1 公民館まつりにおいて、初めて来場者へのアンケート調査を実施し、今後の公民館まつり運営の参考にした。具体的には、子どもが参加できるイベント等の実施を検討していく。 2 市制施行70周年コンサートや、全国報徳サミットが秦野市で開催されることを記念して、子どもを対象としたあんどん作り等の関連事業を積極的に開催した。 3 自主事業については、地域課題や現代的課題を解決するため、職員のこれまでの経験と知識を生かして、新規に10事業を実施して多様な学習機会の提供を図った。 4 公共施設予約システムが本年2月に変更された際に、独自のマニュアルの作成、西地区4公民館(西・上・渋沢・堀川)の事務職員による打合せを行う等、新システムに対する職員・公民館間での共通認識を深めた。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取組と成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	5			自主事業の開催に当たっては、講座終了後のアンケート、利用者説明会及び公民館運営協議会における意見等を踏まえ、夏休み子ども講座「水引きのひまわりストラップ」や「レクダンス体験教室」等の新規10事業を実施したこと等により、事業への参加者数の増加につながったと考えている。 公民館事業の周知に当たっては、広報はだのやHP掲載、渋沢駅周辺の商業施設にポスター掲示を依頼した。特に、子ども向けの事業については、チラシを西小学校全児童に配布した。また、新たに農協西支所へ地区内の組合員への事業のチラシの配付を依頼するなどPR活動に努めた。 また、公民館職員に対しては、消防職員による応急手当講習を、西公民館において西地区4公民館(西・上・渋沢・堀川)合同で開催したほか、公民館運営協議会委員に対しては、西中学校で実施した人権講演会を案内し、研修の機会を確保した。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	5			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	5			
	評価	5	5	5	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	5			自治会や西地区まちづくり委員会、地区社会福祉協議会などと連携を図り、地域の課題を把握しながら、各行事などにも公民館としても積極的に関わるなど、まちづくりの拠点となるように努めた。 事業実施に当たっては、公民館利用団体からの提案により、ヨガ、健康体操、ダンス及び脳トレ講座など、中高年を対象とした講座の充実を図ったほか、全国報徳サミット秦野市大会の関連事業として映画「二宮金次郎」の上映会を5月に開催したが、地域住民からの要望により再上映会を10月に開催するなど、学習機会の提供に努めた。 また、婦人会、PTAのOGなどの女性で構成されている「西の女性交流会」では、10月には十五夜の饅頭、1月にはドンド焼き団子を作って公民館の1階フロアに展示し、季節ごとの伝統的な行事を来館者に周知するとともに、異世代女性間の交流を図った。 隣接する中学校との連携においては、公民館が体操教室を開催するに当たり、全面が畳敷きの中学校の武道場を使用したり、中学校が委員会活動や進路指導のほか、茶華道部の活動で公民館の集会室を使用して地域の方々にお茶を振る舞うなど、施設の相互利用をはじめ、館長が学校運営協議会に参加するなど、様々な面での連携の強化を図った。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	5			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	5			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	5			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	5			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	5	5	5	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			公民館利用者に対しては、親切で丁寧な窓口対応や電話対応を心がけるとともに、積極的に声掛けして、気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めた。具体的には西小学校児童の町かど探検学習の見学を受け入れ、公民館職員が施設や図書室について等の説明をして対応した。後日、児童から公民館へお礼の寄せ書きをいただき、職員の一層の励みとなった。図書室については、定期的な図書の入替え作業終了後に、図書館職員との意見交換の場を設けたことにより手続きに対する共通認識を図ることができた。また、毎月テーマを変えてブック展を開催するなど、公民館利用者の読書への関心を深める取組を行ったことにより、貸出冊数が増加した。また、集会室で使用する机の脚の不具合が多く発生したため、部屋の鍵の明け渡し時に、机の正しい移動方法を口頭で利用者に伝えるとともに、ボランティアの協力を得て机の脚を補修したことにより、早急な対応をすることができた。
	利用者への対応は適切か	5			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	5			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	5			
	評価	5	5	5	

施設の総合評価

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

自己評価	評価	評価理由(取組と成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	5	施設利用としては、令和6年度と比較すると、利用人数で約6.2%増加、利用件数で約2.7%増加した。「西公民館まつり」は、前年度から参加人数は240人の増となった。公民館で活動しているサークルをはじめ、日頃から西公民館を活動拠点としている公的な団体(自治会、婦人会、地区社協、体育協会、学校や幼稚園など)からも多くの参加者があり、地域に開かれた公民館として地域づくりの一役を担うことができたと考ええる。 また、令和7年度は、職員の積極的な提案や公民館利用団体からの提案により、新たな自主事業を含め、ほぼ予定どおりの事業が実施でき、事業への参加者が大幅に増えた。新規事業のうち、「こごん刺しブローチ作り講座」や「一本指から始める脳トレキーボード」では、講座終了後に講師を中心としてサークル活動化することとなり、地域住民の学習活動の支援に努めることができた。 今後も、関係機関や地域の諸団体との連携と協働を深め、特に、子どもたちや若い世代の利用促進に努めるとともに、地域性を生かし、地域の方々にとって親しまれ、愛される公民館となるよう努力していきたい。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	5	令和7年度の事業報告及び日頃の西公民館の運営状況を精査した中で、新たな取組を積極的に実施しており、特に次の点を高く評価した。 ① 事業実施に当たり、公民館まつりでの来館者アンケート調査の実施や、公民館利用団体からの提案により新規事業を立ち上げるなど、利用者や地域住民の意向が反映された公民館運営がされており、地域づくりの拠点としての役割を十分に果たしている。 ② 西中学校との連携においては、公民館まつりで美術部や科学部の生徒の作品を展示したほか、公民館事業で中学校の武道場を活用した。また、公民館事業への中学校の生徒の参加や、中学校が委員会活動、進路指導及び部活動で公民館の多目的ホールや集会室を使用するなど、様々な形で複合施設の優位性を生かした公民館運営がされている。 ③ 他館に呼びかけて公民館職員に対しての応急手当講習の合同開催や、公共施設予約システムが変更された際に事務職員による合同打合せを行う等、西地区の4公民館(西・上・渋沢・堀川)で連携・協働を図っている。 なお、引き続き、地域の特性を生かし、生涯学習の場として、まちづくりの拠点として、施設運営の充実を図られることを期待したい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	5	公民館運営協議会の意見や講座参加者のアンケート結果から、中高年を対象としたヨガ、健康体操、ダンスなどの新規事業を実施しており、前年度に比べ参加者が増加したことは、利用者ニーズへの素早い対応として評価できる。また、「西の女性交流会」での季節ごとの伝統行事などをお知らせする取組も生涯学習の拠点の役割を認識した活動であると考ええる。 西中学校の美術部と科学部が制作した作品展示や、夏休み子ども科学工作教室「リニアモーターカーを学ぼう！」等、中学校との複合施設として地域住民と学生の連携を図った各種事業は、社会教育の場としての公民館と学校教育が融合し、多様な年代の結びつきを深める、評価すべき取組であり、より一層の充実を期待する。 西部地域全体の活動拠点として、西地区公民館の職員合同で研修を企画したことは、研修機会が少ない職員にとって、スキルアップだけでなく、近隣施設の職員との交流や情報交換の場として有意義であったと思われる。 事業のマンネリ化を招くことがないように常に見直しをしているとのことであり、新しい団体やこれまで参加が難しかった市民が継続しやすい事業を検討されたい。

令和8年度(7年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立南公民館					
職員数		8名(内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	6.0Km ²	人口	21.2千人		
施設	開館年度	昭和45年度		構造	RC一部鉄骨造2階建		
	延床面積	994.26m ²		敷地面積	1,476.45m ²		
	室名	■多目的ホール ■視聴覚室 ■集会室 ■学習室 ■和室 ■調理室					
【単位:千円】		5年度 決算額	6年度 決算額	7年度 決算額	8年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,075	2,135	2,037	2,278		
	参加者負担金	26	19	16	15		
	軽印刷その他雑入	232	215	195	295		
	計	2,333	2,370	2,248	2,588		
支出	活動費(0101)		199	167	210	191	
	維持管理費(0102)		6,097	6,479	7,705	9,526	
	事務費 (0103)	人件費	10,372	13,024	15,402	16,590	
		その他	554	570	714	771	
	計		17,222	20,240	24,031	27,078	
	営繕工事費(0200)		0	0	0	0	
利用状況等	指標名		5年度 実績値	6年度 実績値	7年度 実績値	8年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	34,439	31,697	35,353	36,000	
		利用件数	3,214	3,019	3,097	3,250	
		利用日率	75.5%	74.0%	76.2%	77.0%	
	事業	事業日数	75	63	61	62	
		参加者数	1,383	1,089	1,509	1,600	
	図書室	利用者数	6,189	5,836	5,432	6,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	—	—	—	—	
令和7年度方針		「明るく笑顔あふれる公民館」を目指し、地域で活動する団体と連携を深めながら事業展開を図るとともに、健全で心豊かな子どもと健康で生き生きとした高齢者の活動支援を進める。					
令和7年度改善事項		昨年度から実施の「子ども工作教室」では、全国報徳サミットが秦野市で開催されることを記念した関連事業として、「あんどん作り」を行い、報徳サミットに向けて、気運の醸成を図った。また、季節の行事を来館者に感じてもらえるよう「ひな人形展示」を再開した。公民館まつりにおいては、市民から要望があった模擬店を再開した。 さらに、夏季事業の周知について、小中学校向けの保護者連絡サービス「totoru」を活用し、南小学校の児童及び保護者を対象に、案内チラシをデジタル配信した。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取組と成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			公民館運営協議会や日常の窓口での利用者とのやり取り等を通して、広く意見を吸収し、公民館活動に取り入れることができた。公民館運営協議会では、活発に協議・検討、意見交換を行い、より良い公民館運営につなげることができた。 また、運営上の懸案事項等は職員間でよく話し合い、対応方法について検討することができた。 公民館での自主事業については、他館や地域の児童館にもポスターを掲示するとともに、広報はだのや公民館報、ホームページへの掲載、また、「tetoru」の活用等によって、地域に発信することができた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			自主事業の開催に当たっては、地区まちづくり委員会、体育協会、青少年指導員などと連携・協力し、地域特性を生かした事業や地域の高齢者や子どもたちを対象にした事業を実施した。 「公民館まつり」は、社会教育施設としての本来の目的である、利用団体の日頃の学習成果の発表の場とするとともに、団体相互の交流を図る場とした。幼稚園、こども園との連携・協力により園児の作品展示や発表も実施した。 また、夏休み期間中は、子ども向けの事業を多く実施し、たくさん子どもたちに、安心して利用してもらえるよう努めた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			開館から50年以上が経過し、施設の老朽化が目立ち、駐車台数も少なく、エレベーターがないなどの根本的な課題はある。しかし、軽易な不具合等には迅速に対応し、安全に利用できるように努めた。 また、南公民館は、震生湖への観光客や、まいまいの泉に市外から水を汲みに立ち寄る人なども多いため、観光パンフレット等を途切れることなく配架し、置き場所も工夫して、明るく笑顔あふれる対応を心がけている。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	4	4	4	

施設の総合評価

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

自己評価	評価	評価理由(取組と成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	令和7年度の自主事業は、天候不良等により中止となったものもあったが、子ども向けの事業を含め、ほぼ予定どおりの事業が実施でき、おおむね好評であった。 今後も、自主事業参加者のアンケート等により市民のニーズを把握し、地域の関係団体等と連携することで、地域の特性を生かした様々な事業を展開していく。 また、令和7年度より発足した南中学校区学校運営協議会委員に公民館長が参画するようになったことから、学校教育と社会教育との連携が今まで以上に図りやすくなったため、今後も、さらに関係を密にして事業を実施していきたい。 さらに、老朽化している施設・設備の機能維持や、敷地内の環境美化も心がけ、施設利用者に安全で安心、そして清潔な生涯学習の場を提供できた。引き続き、適切な施設の維持管理に努めていく。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	子どもから大人まで参加できる自主事業を数多く実施している。中でも、親子や児童・生徒を対象とした事業としては、パン作り教室や工作教室があり、地域の子どもたちと一緒に活動ができている。 また、南地区のまちづくり委員会との南地区の湧水めぐりとホテル観察会や体育協会とのスマイル筋活体操教室、あるいは青少年指導員との南キッズクラブ子ども会活動など、地域と連携した自主事業も多く、地域特性を生かした事業が実施されている。これにより、生涯学習や地域のまちづくりの拠点としての役割は十分に果たしているものと考えられる。 施設管理については、丁寧な管理により、誰もが安全、安心に利用できる施設となっている。しかし、建物は築56年目を迎え、老朽化が進んでおり、エレベーターがないことや駐車台数に限りがあるなど、すぐには対応し難い課題が多く、また、風水害時には避難所にもなることから、早期に建替え等の対応を進められたい。
外部評価	評価	
社会教育委員	4	地域とのつながりが強く、まちづくり委員会、体育協会、青少年指導員、こども園や幼稚園等と連携し、多くの活動を行っている。特に、公民館まつりでは、多くの団体が協議を重ね、当日の舞台発表や模擬店で活動し、来館者に好評を得ており、地域の拠点として、地域の活性化に寄与しているといえる。 また、南地区の特徴である、敷地内の「まいまいの泉」をはじめとした湧水、震生湖等の近隣の豊かな自然環境を生かした自主事業も展開しており、今後も積極的に取り組んで欲しい。 さらに、令和7年度は、市内で開催された全国報徳サミットにおいて、南小学校の児童が報徳に関する学習の一環で菜種油の栽培・抽出をした内容の発表を行い、この地域の活動を全国に発信できたと思われる。児童にとっても貴重な体験となり、行燈づくりは、令和8年度も継続するなど、一過性とせず、次につなぐことができている。 施設の老朽化はあるものの、人口の多い地区であり、施設に対する需要が高いことは、利用者数が示している。駐車場の不足や施設面でバリアフリー化されてない点はあるが、利用者の安全を第一に、新しい館の建設までの間、適切な対応をしていただきたい。

令和8年度(7年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立北公民館					
職員数		8名(内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	20.0Km ²	人口	13.1千人		
施設	開館年度	平成12年度		構造	RC一部鉄骨造2階建		
	延床面積	1,493.25m ²		敷地面積	2,712.32m ²		
	室名	■多目的ホール ■集会室 ■音楽室 ■創作活動室 ■和室 ■調理室					
【単位:千円】		5年度 決算額	6年度 決算額	7年度 決算額	8年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,135	2,518	2,633	2,918		
	参加者負担金	43	61	75	74		
	軽印刷その他雑入	421	433	436	321		
	計	2,599	3,012	3,144	3,313		
支出	活動費(0101)		447	451	512	506	
	維持管理費(0102)		9,672	8,591	8,909	10,860	
	事務費 (0103)	人件費	10,740	13,012	15,402	16,590	
		その他	762	749	837	770	
	計		21,621	22,803	25,660	28,726	
	営繕工事費(0200)		17,213	0	10,686	0	
利用状況等	指標名		5年度 実績値	6年度 実績値	7年度 実績値	8年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	29,307	31,062	34,189	35,000	
		利用件数	2,442	2,438	2,517	2,600	
		利用日率	71.1%	72.5%	71.3%	73.0%	
	事業	事業日数	68	72	88	90	
		参加者数	3,650	3,732	4,168	4,200	
	図書室	利用者数	3,681	3,720	4,017	4,100	
	連絡所	住民票等取扱件数	3,820	3,382	2,870	—	
令和7年度方針		1 地域の生涯学習活動、まちづくりを推進する拠点として、利用者とのコミュニケーションを大切にし、地域・学校・利用団体等との連携をより一層大切にした事業展開を図る。 2 誰でも気軽に来館できる明るく、快適な環境をつくるとともに、講座やイベントの積極的な周知により、利用者数のさらなる増加を図る。 3 あいさつ、声かけ、丁寧な接遇とともに、利用者のニーズを反映し、安全で安心して利用できる地域に愛される公民館づくりを目指す。					
令和7年度改善事項		1 自治会及びまちづくり委員会の役員改選年で大半が新任となったが、地域活動に支障を来すことがないよう、地域と公民館の積極的なコミュニケーションにより、顔の見える関係づくりに努めた。 2 全国報徳サミット秦野市大会に合わせ、「二宮金次郎映画上映会」を北地区社会福祉協議会と共催で実施し、地域団体や公民館利用者と連携した事業を展開した。 3 公民館まつり「まきの木まつり」では、例年、午後の来場者が減少していることから、舞台発表において、子どもが出演する団体の出演順を午後にする事で来場者の確保に努めた。 4 維持管理面については、第1駐車場及び第2駐車場の計画的な草刈りや竹が生い茂っていた忠魂碑跡地の竹の伐採により、安全で快適な環境づくりに努めた。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取組と成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			5月上旬の利用者説明会では、利用方法の説明だけではなく、作品展示に関することや「まきの木まつり」の運営方法等について意見を聞き、利用者の意向を踏まえた公民館の運営に努めた。 公民館運営協議会は、6月と3月の2回開催し、公民館講座参加者の増加策や図書室利用の活性化について意見、助言をいただいた。また、まきの木まつりにおいては、運営協議会委員が主体的に参加し、公民館活動の現状把握に努めた。 研修に関しては、館長が参加した研修会の内容を公民館運営協議会に情報提供したほか、県から発信される先進事例について職員間で情報共有を図った。 自主事業の周知については、広報や館報での周知に加え、特に、演奏コンサート、合唱発表会、演劇祭の前には、事前予告の大きなポスターを掲示したことにより、多くの来場者でにぎわった。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	5			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	3			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	5			公民館もまちづくりを進める地域の一員であることから、北地区自治会連合会をはじめ、地域団体の活動内容の把握に努めている。また、まちづくり委員会が主催する福祉ふれあいまつりや芸能まつり等においては、まつり出演者との仲介役を果たすなど連携を密にし、まちづくりの拠点としての役割を果たすよう努めている。 自主事業では、地域の伝統文化を継承する「お月見まんじゅう作り」ほか4事業があり、その全てが地域の団体と住民の講師により実施されている。 また、高齢者の居場所づくりを目的とした北地区社会福祉協議会主催のサロン「北茶菓場」や地域団体と公民館共催の「里山カフェ」は、超高齢社会に欠かせない事業であり、引き続き連携を強化していきたい。 幼稚園、小中学校との連携については、館長が学校運営協議会のメンバーであることから、情報共有を図り、連携協力体制を築いている。また、「まきの木まつり」に社会体験を目的として、北小学校の3年生と5年生が模擬店を出店したこともあり、多くの子どもたちがまつりに訪れ、地域住民との交流を図った。 ホームページに仲間募集の記事を掲載し、サークル活動の活性化を支援するとともに、地域住民の趣味活動や学習活動の促進に取り組んでいる。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	5			
	生活・現代的課題や地域課題のに関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	5			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	5			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			窓口対応や施設の利用方法については、特に不満や問題点の指摘はなく、全ての職員が、あいさつや丁寧な接遇により、気軽に立ち寄れる雰囲気づくりに努めている。 令和8年2月20日から予約システムが新システムに移行したことから、使用承認書の発行に時間を要するケースがある。苦情等はないが、迅速な書類の発行に努める。 図書室では、季節に応じた企画展示が好評であるほか、子どもたちを対象に、夏休みのスタンプラリーや新1年生への入学お祝いの手づくり品のプレゼントなど、明るく、親しみやすい雰囲気づくりにより、児童の貸出人数が増加した。 施設や設備については、街路灯センサー、受水槽ボールタップ、変電設備の漏電火災警報器の故障など、予期しないものが多くあったが、迅速に修繕し、1年通して公民館活動に支障はなかった。また、子育てしやすいまちづくりの一環として、1階のみんなのトイレにおむつ交換台を設置した。
	利用者への対応は適切か	5			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	5			
	図書室は機能しているか	5			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	4	4	4	

施設の総合評価

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

自己評価	評価	評価理由(取組と成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	地域が抱える課題について情報共有を図り、地域団体とのコミュニケーションを密にし、地域から信頼される公民館づくりに努めた。また、敬老会や福祉ふれあいまつりなどの地域のイベントに際し、密接な協力体制を築き、地域福祉の増進の一翼を担うよう努めた。 令和7年度は、キッズダンスや社交ダンスの団体利用が大幅に増え、利用者数は前年に比べ約10%増で目標の3万2千人を大幅に上回り、学習活動の拠点としての役割を果たすことができた。また、図書室の利用者数についても、子どもを対象にしたスタンプラリーの開催や小学生への利用促進キャンペーン(チラシ配布)などにより、児童の貸出人数が増加した。 自主事業については、特に、みそ作り等の地域文化の伝承講座が非常に満足度が高く好評であった。課題となっていた新規事業の開拓と講師の発掘については、ホームページやポスターにより講師の募集を図ったところ、1団体、1個人から応募があった。今後は、応募者と調整し、新規事業の開設につなげていきたい。 「まきの木まつり」は、小雨となり来場者の減少が心配されたが、開会式から多くの方が集まり、模擬店、舞台発表とも盛況であった。天候に左右されなかったのは、北小学校児童による模擬店出店に伴う保護者等の来場と「まきの木まつり」に対する期待の高さの現れであると考えられる。 今後とも、地域住民が事業の企画運営に参画していただくなど、地域の団体との共催事業の充実に努め、より多くの方に満足していただく事業を展開していく。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	公民館利用者数、事業参加者数、図書室利用者数が増加したことは、日ごろからの取組の成果であり評価に値する。今後も利用しやすく、親しみやすい公民館として、利用者の増加を目指してほしい。 まきの木まつりは、北小学校の2学級が模擬店を出店したこともあり、雨天にも関わらず、多くの来場者で賑わった。今後も学校との密接な連携を図りつつ、子どもの公民館イベントへの参加を促進し、多世代間の交流を深めてほしい。 自主事業の参加者が大幅に増加したことから、工夫した事業展開がなされているものと考えられる。一方、参加者が少ない講座が散見されるので、ニーズを把握したうえで、時代の変化に則した見直しが図られることを期待したい。 施設の備品に関しては、主に多目的ホールや集会室で使用しているテーブルについて、複数台に不具合が生じていることから、点検を行ったうえで、入替えなど必要な対応をしてほしい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	キッズダンスや社交ダンスの団体の利用が増えるなど、利用者数・事業参加者数が増加したことは、取り組んでいる事業が地域住民のニーズを把握した結果に結びついていると評価できる。 「まきの木まつり」に小学生が司会進行や模擬店出店で参加したことは、新たな取組として、子どもたちにとって地域に貢献しているという貴重な体験を提供でき、幅広い年代の方との交流が図られたため評価できる。今後も継続し、次につながる更なる工夫をして、幼小中との連携を深めていただきたい。 また、小学生の図書室利用の増につながった工夫であるスタンプラリー(きたポン!)は、子どもたちにとって読書に親しむきっかけにつながる良い企画であり、地域の家庭教育支援の拠点施設として高く評価できる。 北地区社会福祉協議会と連携した「北茶菓場」は、高齢者の居場所づくりとなり、介護予防の観点からも継続的に高齢者が楽しめる事業として効果が期待されるので、さらに連携を密にしていきたい。 施設面では、浄化槽ポンプのひとつが故障していることから、ポンプの交換を含めて、今後早期に対応してほしい。

令和8年度(7年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立大根公民館					
職員数		8名(内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	6.0Km ²	人口	24.7千人		
施設	開館年度	昭和54年度		構造	RC一部鉄骨造2階建		
	延床面積	1,136.14m ²		敷地面積	1,587.03m ²		
	室名	■多目的ホール ■集会室 ■学習室 ■和室 ■調理室					
【単位:千円】		5年度 決算額	6年度 決算額	7年度 決算額	8年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,191	2,406	2,661	2,984		
	参加者負担金	170	174	180	176		
	軽印刷その他雑入	168	167	156	290		
	計	2,529	2,747	2,997	3,450		
支出	活動費(0101)	151	152	131	190		
	維持管理費(0102)	9,125	7,972	9,059	10,118		
	事務費 (0103)	人件費	10,303	12,920	15,402	16,590	
		その他	684	815	770	769	
	計	20,263	21,859	25,362	27,667		
	営繕工事費(0200)	0	0	20,314	0		
利用状況等	指標名		5年度 実績値	6年度 実績値	7年度 実績値	8年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	29,956	28,756	31,091	31,500	
		利用件数	2,649	2,650	2,975	3,000	
		利用日率	74.8%	75.3%	77.4%	80.0%	
	事業	事業日数	82	79	79	85	
		参加者数	3,135	3,114	3,877	3,900	
	図書室	利用者数	8,635	7,953	7,753	8,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	3,385	3,003	2,673	—	
令和7年度方針		生涯学習の場及び地域まちづくりの拠点としての機能をより発揮できるよう、関係諸団体との連携を図り、その地域の力も生かしながら、時代や地域住民のニーズを的確にとらえた安全で安心な公民館運営を進める。					
令和7年度改善事項		事業面では、新たな課題や時代を意識した自主事業を実施するなど、人と人を結び、生きがいや学びがいににつながる場を提供することができた。「おおね公民館まつり」「おおね音楽祭」をはじめとする公民館事業は全て予定どおりに開催できた。 施設面では、令和6年度からの継続課題であった多目的ホールの空調設備を初夏には新規設備が使用できるよう整備し、年度後半には、館全体のLED化工事を実施、和室では8年ぶりの畳替えを行うなど、施設・設備の維持管理や老朽化に伴う修繕等に努めた。敷地内樹木の大規模剪定、桜の伐採など予防的措置も行った。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取組と成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			講座等実施時には参加者へのアンケート調査を実施し、今後の事業に反映するように努めた。事業実施に当たっては、公民館運営協議会の委員に講師や指導者を務めていただいたり、運営に協力いただいた。事務職員にあっては、始業前の朝礼でスケジュール確認等の情報交換や連絡日誌を活用するなど、職員間の情報共有を図り、円滑な業務運営に努めた。情報発信にあっては、公民館ホームページの随時更新に努めるとともに、館報については関心と呼ぶような内容やデザインを工夫し、こども園、小中学校等の関係機関への配布や、大根地区自治会への組回覧を通じた展開を行った。一部事業では、こども園、小中学校、市の関係部署、タウン誌にも周知の御協力をいただいた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	5	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	5			公民館長の「地域まちづくりコーディネーター」兼務や、「大根中学校区子どもを育む会」、「学校運営協議会」等の地域ネットワークへの参画が、地域や学校との連携につながっている。 夏休み期間中の子どもの居場所づくりと学習支援のための「学習室無料開放」は7年目となり、ひろはた自習相談室の先生方の協力もいただくことにより、ソフト面での支援体制も整い、大いに利用されている。 「おおね公民館まつり」には地域の伝承行事を守る「瓜生野盆踊り保存会」が前年度に続けて参加したほか、地元の秦野高校から弦楽吹奏部とストリートダンス部が出演した。また、東海大学の出演団体がボランティアとして運営に関わるなど、大根地区ならではの地域力も生かすことができた。東海大学との連携は、「おおね音楽祭」や、複数の講座にも生かされた。 誰もが気軽に参加できる企画展示イベントについては、関心を高めるため、年間を通してのスタンプラリーを引き続き実施した(令和4年度開始)。資料コーナーの充実など各種情報の提供にも取り組んだ。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	5			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	5			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	4	5	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			ソフト面では概ね満足されていると考えるが、ハード面では多目的ホールの空調設備の更新、全館LED化工事、和室の畳替えといった課題を解決することができた。引き続き、施設・設備の老朽化対策や、時代のニーズに合わせた整備(エレベータの設置、バリアフリー化等)が要求されており、公民館整備のあり方の早期明確化が求められる。 公民館業務だけでなく、市の連絡所としての証明発行業務、選挙時の投票所機能、風水害時の避難所機能など多くの役割を期待されており、物的資源・人的資源ともに限られる中で努力した。9月5日の台風15号では、子ども(きょうだい)だけでの避難者があった。増加する風水害の中で毎年避難所として開放する事態となっている。 市役所の出先機関として期待もあり、利用者が見やすい案内表示や資料の配架等にも努めた。図書室では利用者を歓迎する飾り付けや、本への関心を誘うお勧め本のコーナーを設けるなど利用者へ積極的に働きかけた。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	4	4	4	

施設の総合評価		
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)		
自己評価	評価	評価理由(取組と成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	自主事業については、全て予定どおり実施することができ、事業数・参加者数とも安定している。新たな課題や時代を意識した取組も行った。 「おおね公民館まつり」には、地元の高校、大学の団体が積極的に役割を担って参加し、地域の伝承行事を守る団体も参加するなど地域特性を生かし、様々な利用団体や関係諸団体と調整したうえで、安全かつ盛況のうちに実施することができた。年間を通した各種展示事業や子ども向け事業には、こども園の園児等も参画し、年代・世代を超えた交流、喜びの伝播へとつながっている。 老朽化が著しい施設・設備の機能維持や、敷地環境の維持管理にも心を砕き、多目的ホールの空調設備の更新、全館LED化工事、和室の畳替えといった課題を解決することができた。引き続き、安全安心な施設管理、事業運営を継続していく。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	時代は、孤独や孤立、対立を乗り越え、生きがいのある人生を送ることの大切さを気付かせてくれており、地域に根差し、人と人を結び付ける活動や組織・施設の重要性は、一層増している。その拠点機能が期待されている公民館において、地域の人的・物的資源を生かした事業や、新たな時代に即した事業への取組の努力を重ねてきたことは評価できる。 市の出先機関としての業務負担の増大が課題だが、引き続き、東海大学や秦野高等学校を含む関係機関・地域団体等との連携やボランティアの活用拡大など地域の様々な力を生かし、誰もが安心して利用できる生涯学習の場の提供に努めてほしい。 公民館の施設は、市役所連絡所、風水害時避難所など多岐にわたる役割を担っていることから、必要な設備更新や、事業継続と安全への対策を進める必要がある。令和7年度は、多目的ホールの空調設備の更新や全館のLED化など着実に進めてきた。エレベーターの設置など長年の懸案もあるが、そもそも抜本的な施設のあり方をどうしていくのか、学校施設の再整備と合わせた取組を早急に進められたい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	5	令和7年度の利用状況は、目標値、前年実績を上回っており、的確な情報発信、事業の実施後アンケートにより、利用者ニーズを把握した運営が効果を挙げていると思われる。 公民館まつりにおける、瓜生野盆踊り保存会の参加は、地域の伝統行事を伝承する拠点として機能を果たしている。また、秦野高校、東海大学が積極的に役割を担って参加し、中でも東海大生は、代々引継ぎをされているなど、公民館と深いつながりを持っており、地域の特性を生かした取組となっている。さらに、おおね音楽祭は公民館の開館当時から継続されている伝統あるイベントで、こちらでも東海大生が継続的に重要な役割を担っており、合わせて地域の多くの団体が連携して開催している、特色ある学習発表の場であると思われる。 年間を通した事業では、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象としており、ベビーマッサージ教室は、子育て支援として、大切な知識を得られる効果的な事業となっている。また、かながわリレー科学教室は、県立青少年センターを活用し、子どもたちに科学について考える機会を与える、意味のある教室であると感じる。 図書室では、職員による読み聞かせを実施するとともに、夏休みには本読みチャンピオンを企画し、子どもたちが本に興味を持つ機会が用意されている。全体として、事業運営に工夫があり、効果も認められると評価する。 施設は老朽化しているが、大根中学校校区の一体的な施設整備までの間、市の出先機関としての業務と風水害時の避難所の役割を担えるよう、これまで同様、適切な維持管理に努めていただきたい。

令和8年度(7年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立東公民館					
職員数		8名(内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	29.0Km ²	人口	15.0千人		
施設	開館年度	昭和56年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	1,063.86m ²		敷地面積	2,424.67m ²		
	室名	■多目的ホール ■集会室A ■集会室B ■和室 ■調理室 ■小和室					
【単位:千円】		5年度 決算額	6年度 決算額	7年度 決算額	8年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	1,416	1,470	1,653	1,855		
	参加者負担金	77	46	32	31		
	軽印刷その他雑入	271	260	229	251		
	計	1,764	1,776	1,914	2,137		
支出	活動費(0101)		264	196	219	190	
	維持管理費(0102)		7,005	7,299	9,532	11,039	
	事務費 (0103)	人件費	10,881	13,393	15,402	16,590	
		その他	631	590	799	768	
	計		18,781	21,478	25,952	28,587	
	営繕工事費(0200)		0	4,074	0	0	
利用状況等	指標名		5年度 実績値	6年度 実績値	7年度 実績値	8年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	29,503	28,638	27,537	28,000	
		利用件数	2,344	2,365	2,395	2,400	
		利用日率	67.0%	68.3%	69.0%	69.5%	
	事業	事業日数	76	78	63	65	
		参加者数	4,346	4,121	3,525	4,000	
	図書室	利用者数	4,469	6,531	6,397	6,500	
	連絡所	住民票等取扱件数	3,045	3,303	2,837	—	
令和7年度方針		生涯学習の拠点として、地域住民にさまざまな学びの場を提供し、知識や技能の向上を支援する。また、地域まちづくりの中心として、コミュニティの結びつきを深め、文化や伝統を育む。 さらに、安全安心の拠点として、また、東地区連絡所として住民の生活に密接に関わる行政サービスを提供し、行政と地域の懸け橋としての役割を果たす。 東公民館はこれらの機能を調和させながら、温かみのある便利な施設として、子どもからお年寄りまで誰からも身近に感じていただける施設を目指す。					
令和7年度改善事項		令和7年度は、第30回全国報徳サミットが秦野市で開催されたことから、関連事業として映画「二宮金次郎」の上映会や尊徳ゆかりの地を歩く事業を実施した。 また、自主事業では、「まほら道しるべの会」に講師を依頼して実施している「古道大山道を歩く」、ネイチャーウォッチングクラブに依頼して実施している「自然観察ウォーキング」に加え、「大人の折り紙教室」、「初心者パン作り教室」など、新規事業も増やし、自主事業を通して、東地区の歴史や自然を再認識していただくとともに、知識や技術の向上、昔ながらの文化の伝承などにつなげることができた。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取組と成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			東地区には、歴史や自然などの資源が多く、公民館事業でも地域資源を生かした事業実施に務めており、参加者も多い。 自主講座などの情報発信は、公民館報をはじめ、広報はだの、館内や他館へのポスター掲示依頼、学校へのSNSを活用した情報発信、ホームページでの掲載など積極的な周知に努めた。 郊外事業以外の事業に関しては、アンケートの記入をお願いすることで、利用者の事業に対する感想や取り入れてほしい事業・要望などを今後の事業に反映できるようにし、職員は、その情報をミーティングや業務日誌などを通して共有している。 館の運営では、大学生のインターンシップを受け入れたため、学生への事業内容の説明が、全員参加のミーティングの実施などとともに、効果の高い自己研修の機会となっている。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			まちづくり実施委員会や学校運営協議会など地域や学校との連携を通して情報共有を行いながら、地域活性化につなげる取組を進めた。 歴史講座、十五夜まんじゅう作り、お正月飾り、味噌づくりなど地域の方々を講師として迎え、伝統文化や地域に根付いた知識・技術を学ぶ事業を実施し、地域文化への理解を深めるとともに、地域との交流を図る機会作りにも努めた。 公民館まつりでは、あいにくの雨天のため一部制限のあった中での開催となったが、新たな参加団体もあり、普段の活動の賑わいも感じていただき、参加団体にも見学者にも楽しんでいただくことができた。 生涯学習、社会教育施設として、より多くの方に利用していただくため、また、利用団体のPRや会員募集に、ホームページや館内掲示、館報紙の積極的な活用にも努めた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			令和8年2月から新予約システムの稼働が始まり、慣れない作業で窓口で待たせてしまうこともあったが、事前の声掛けで、大きなトラブルもなく、スムーズに対応することができた。また、利用者も慣れない作業に戸惑っている様子が見受けられ、声掛けをしながらの説明をして少しでも不安が解消できるよう心がけた。 図書室では、利用者人数の減少が見られる中、利用促進に向けた取組の一つとして、夏休みに「なつプレ」を企画し、読書の楽しさや本に親しむ大切さを再認識できるよう働きかけた。 施設整備では、2階バルコニーの手すりの修繕、多目的ホールのステージ階段及び手すりの設置など、施設の老朽化や超高齢社会の到来に伴い、安全面に配慮した修繕を行った。 また、講座や研修等の事業や団体利用に活用できるよう、プロジェクターとスクリーンを新規に導入した。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	

施設の総合評価		
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)		
自己評価	評価	評価理由(取組と成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	公民館は社会教育活動の拠点施設であるが、当公民館は東地区における自治会など地域活動全般の拠点である。このことは職員の共通理解となっており、公民館利用者へのあいさつや声掛けなどを通じて利用者との信頼関係が築かれている。 公民館まつりでは、地域にある保育園の和太鼓演奏や中学校のブラスバンドに参加いただいたほか、新たな参加団体も加わり、また、昨年に引き続き模擬店を開催することにより、賑わいを作り出すことができた。 地域まちづくりでは、県立秦野支援学校により1年に2回、前庭の清掃をしていただいているが、同じ東地区にある施設として連携が進むことになった。 今後の取組としては、さらなる地域との連携、利用者との信頼関係の醸成を進められるよう職員相互の情報共有、事務の改善などに積極的に取り組んでいきたい。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	公民館は、社会教育を推進する拠点施設として中心的な役割を担うとされるが、本市では地域のまちづくりや安心安全の拠点として、また市役所の連絡所としても重要な施設となっている。 東公民館の運営においては、この点について理解がなされ、市民サービスの充実、生涯学習への対応に取り組まれているが、さらに公民館には、学校教育へ協力することや、子どもたちの学校外の居場所や学習する機会の場となり、地域で子どもたちを育むことも求められている。今後とも変化する市民ニーズに柔軟に対応し、利用団体、関係団体との連携のもと、多様な事業に取り組んでいくことが求められる。 施設管理では、建築から40年以上を経て、施設、設備の老朽化が進んでいる中、昨年度は、2階バルコニーの手すりの修繕、多目的ホールステージ階段及び手すりの設置などを実施された。今後も、施設の修繕や更新を計画的に行い、安全で使いやすい施設整備に努めていただきたい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	東公民館は地域の社会教育活動の拠点として、歴史や文化財といった地域の特性を生かしつつ、自治会、体育協会、県立の支援学級を含む幼少中等、地域コミュニティや学校と連携を密にした事業運営が実施されている。 歴史的資源や丹沢への玄関口としての自然を生かした事業が展開され、地域資源の強みを十分に活用した「古道大山道を歩く」、「自然観察ウォーキング」などの事業は、地元の住民でも身近なところで新たな発見に結びつくと思われ、高く評価できる。 公民館まつりでは、保育園の和太鼓演奏や中学生のブラスバンド、模擬店出店等により、盛り上がりを見せた。また、地元の催しである実朝まつりにおいても実行委員会へ積極的に参加され、地域と深く関わっており、開かれた施設の役割を発揮している。 大学生のインターンシップを受け入れたことは、職員の方にも刺激があり、双方にとって良い機会であると思われる。 施設面では、多目的ホールステージ階段及び手すりの設置、2階バルコニーの手すりの錆をペンキで塗る等の修繕も確認した。今後は利用者アンケートによりニーズを把握し、幅広い分野の学習活動を取り入れていただきたい。

令和8年度(7年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立鶴巻公民館					
職員数		8名(内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	2.4Km ²	人口	14.3千人		
施設	開館年度	平成2年度		構造	RC一部鉄骨造2階建地下1階		
	延床面積	1,369.46m ²		敷地面積	1,936.09m ²		
	室名	■多目的ホール ■コミュニティ室 ■和室 ■音楽室 ■創作活動室 ■調理室					
【単位:千円】		5年度 決算額	6年度 決算額	7年度 決算額	8年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	3,065	3,123	2,982	3,302		
	参加者負担金	17	27	33	33		
	軽印刷その他雑入	154	160	156	314		
	計	3,236	3,310	3,171	3,649		
支出	活動費(0101)		166	148	208	232	
	維持管理費(0102)		8,327	9,416	8,503	10,268	
	事務費 (0103)	人件費	10,611	13,452	15,402	16,588	
		その他	941	581	937	769	
	計		20,045	23,597	25,050	27,857	
	営繕工事費(0200)		36,281	0	35,672	1,170	
利用状況等	指標名		5年度 実績値	6年度 実績値	7年度 実績値	8年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	31,923	34,255	31,426	35,000	
		利用件数	2,738	2,907	3,038	3,100	
		利用日率	67.2%	69.2%	72.9%	74.0%	
	事業	事業日数	42	53	64	66	
		参加者数	3,070	3,922	3,907	4,000	
	図書室	利用者数	8,998	8,219	7,730	8,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	1,958	1,725	1,488	—	
令和7年度方針		各事業を実施することにより、地域住民の教養の向上を図るとともに、地域コミュニティ活動の拠点として、自主的な活動を支援するため、地域の住民や団体、学校との連携・強化に努める。					
令和7年度改善事項		新たに「つるまきニコニコ人形劇」を開催し、地域のこども園、保育園との連携を図った。また、一般向け講座は、市民の関心が高い「コミュニケーション向上セミナー」「手打ちそば」などの講座を開催し好評を得た。 施設面では、長年の懸案であったエレベーターの改修工事を実施し、安全で快適な利用環境の確保を図った。また、多目的ホール及び音楽室の照明をLEDに変更し、エネルギーの節減を図った。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取組と成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			自主事業の開催に当たっては、事業実施後のアンケート、利用者の声、市民提案などを踏まえ、12の新規事業を実施した。公民館まつりの参加者が減少したことから参加者数は微減となったものの、子ども向け事業を増やし、近隣の保育園、こども園などの幼児を対象にした人形劇を初めて開催するなど、地域の子ども達との関わりを増やすことができた。 業務の円滑な推進のため、新施設予約システム及び新ホームページシステムの研修内容について、職員間で情報共有を図った。 情報発信については、ホームページの適時更新に努めるとともに、小学校へtetoruによる配信依頼や中学校へのチラシ掲示依頼及び自治会組回覧を活用し、積極的な周知に努めた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			自治会、地区社会福祉協議会等の地域団体と連携を図るとともに、市政懇談会や鶴巻中学校区子どもを育む会などへの参画により地域課題の把握に努めた。 首都直下型地震など、大地震発生が切迫性を増す中、防災・減災サロンを毎月開催し、防災アドバイザーの講義のみならず、神奈川県温泉地学研究所の見学を実施するなど、工夫を凝らしながら鶴巻地区の課題である災害対応に関する知識を身につけることができるよう努めた。 青少年指導員と当館職員が連携のもと、小学生向けの工作教室を開催したほか、鶴巻中学校との連携により支援学級生徒による作品展を実施し、福祉への理解を深める取組を進めた。 小中学校の夏休み期間は、団体予約の入っていない部屋を連日学習室として開放するとともに、今年度から東海大学生がボランティアとして地域の子どもたちへの学習支援を行った。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	4			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	4	4	5	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			敷地内にはつつじ、アジサイなどが時期を異にして花を咲かせるほか、花壇には四季折々の花を植え、来館者を気持ちよく迎える整備を進めた。 また、定期的な施設の点検や、開館から30年以上使用していたエレベーターの改修工事を実施することで、安全快適に利用できるよう努めた。 図書室では、鶴巻小学校教諭との連携のもと、公民館見学会の際に、お仕事体験などを通して図書室に親しんでもらう機会を増やした結果、保護者とともに来室してくれた児童が増えた。また、夏休みには、宿題に役立ちそうなコーナーを設け来室を促す工夫をしたほか、年間を通しておすすめコーナーの充実、ポップ等でより多くの本を手にとってもらえるよう努めた。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	3			
	評価	4	4	5	

施設の総合評価

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

自己評価	評価	評価理由(取組と成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	いずれも前年度と比較し、施設の利用状況は、利用人数では8.26%、2,829人の減少となった。また、公民館まつりは合唱・楽器演奏等のステージ発表及び飲食等の模擬店が2団体減、さらに、2日間を通した来館者数は200人の減少となったものの、参加団体の協力により大変にぎやかな中で、地域の交流が図られたと感じている。 この利用者等が減少した要因としては、7月に多目的ホール及び音楽室のLED化工事により25日間両部屋の貸し出しができなかったほか、エレベーター改修工事により、2～3月に32日間の工事を行ったことによる利用者の減及び例年2月に開催している公民館まつりをエレベーター工事の関係で11月に開催したことなどによるものと考えている。しかしながら、前年度に比べて講座への参加者は微減となったものの、子ども向け講座など新規講座を12増やすなど、地域に開かれた公民館としての役割は果たすことができたと考えている。 引き続き、安心安全な施設管理及びニーズに対応した事業運営に努め、鶴巻地域の方々に親しまれ、愛される公民館となるよう努力していきたい。
内部評価	評価	
運営協議会委員	4	自主事業の実施に当たっては、鶴巻地区の地域活動団体との連携により実施されている事業も多く、また、市民からの企画・提案による事業や、新たに地域の保育園、こども園の児童を対象とした事業も実施するなど、より市民ニーズを取り入れて事業を展開している点は評価できる。 施設の改修工事により、例年開催している時期を変更して開催した公民館まつりは、若干参加者は減少したが、各利用団体と公民館の協力のもとにぎやかに開催でき、地域住民と活動団体の交流が図られた。 一昨年のガラス屋根の張替えにより雨漏りは大分改善されたが、老朽化している施設の改善を図りながら、今後も地域のまちづくり、生涯学習の拠点として地域の多くの人たちとともに親しみやすい公民館となるよう努めてもらいたい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	5	多くの事業を実施する中で、その内容によっては、継続する間に参加者が少なくなるということも考えられるため、利用者の意見を踏まえて新規事業に取り組んでいることは、改善を試みるという点でも高く評価できる。今後も市民のニーズや社会の状況を的確に把握し、事業を推進していただきたい。 地元の防災士を講師に招いて開催している「防災減災サロン」は、台風での水害の危険度が高いこの地域において、市民が災害対応能力を高めるために大変重要な事業であり今後も継続していただきたい。 夏休み期間に小・中学生に向けて学習室を開放し、東海大生が学習支援を行う取組や、地域のこども園・保育園と連携した新規事業の「つるまきニコニコ人形劇」等、学びの面で近隣の大学、こども園・保育園と協働した事例は高く評価できる。 エレベーターの改修工事や、多目的ホール及び音楽室の照明のLED化工事等の影響で、前年に比べ利用人数の減少が見られたが、事業実施後のアンケート、利用者の声、市民提案などを踏まえて12の新規事業を実施しており、社会教育施設としての役割を十分に果たしていると思われる。

令和8年度(7年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立上公民館					
職員数		8名(内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	12.4Km ²	人口	1.9千人		
施設	開館年度	平成5年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	859.54m ²		敷地面積	1,176.16m ²		
	室名	■調理室 ■創作活動室 ■和室 ■集会室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		5年度 決算額	6年度 決算額	7年度 決算額	8年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	1,032	816	1,071	1,162		
	参加者負担金	26	27	20	19		
	軽印刷その他雑入	83	77	78	207		
	計	1,141	920	1,169	1,388		
支出	活動費(0101)		148	156	153	185	
	維持管理費(0102)		7,837	6,672	7,533	11,418	
	事務費 (0103)	人件費	10,756	12,942	15,402	16,588	
		その他	600	703	791	759	
	計		19,341	20,473	23,879	28,950	
	営繕工事費(0200)		19,053	0	0	19,978	エレベータ設備改修工事
利用状況等	指標名		5年度 実績値	6年度 実績値	7年度 実績値	8年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	10,440	11,497	11,500	12,000	
		利用件数	958	986	938	1,000	
		利用日率	36.6%	37.3%	35.1%	40.0%	
	事業	事業日数	62	60	78	76	
		参加者数	2,259	1,942	3,027	3,050	令和7年度公民館まつり参加者2,325人
	図書室	利用者数	1,592	1,722	1,610	1,700	
	連絡所	住民票等取扱件数	638	597	601	—	
令和7年度方針		地域のまちづくり・生涯学習の拠点施設であるとの認識のもと、地域、幼稚園・小学校、利用者団体等との良好な信頼関係の構築に努め、連携した各種事業に積極的に取り組む。					
令和7年度改善事項		和室のテレビを更新するとともに、調理室の給湯器及び玄関ポーチ雨樋を交換修繕することで利用環境を改善した。 各種料理教室について、ふるさと料理教室に統一し開催した。 公民館まつり時に、図書職員による折り紙コーナーを設け、新たな楽しさを提供した。 館内掲示は、他の公民館事業案内を館ごとにまとめ、また市、地域別に分類することで見やすさを工夫した。 市駅伝競走大会に上・西地区が優勝したことから、優勝旗、賞状、成績表及び写真を展示し、周知することが出来た。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取組と成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			年度初めの利用者懇談会の開催、各講座終了後の参加者及び講師へのアンケートの実施、公民館運営協議会での意見を踏まえ、利用者の視点に立った事業運営をすることができた。 公民館まつりの開催に当たっては、地域や関係団体と実行委員会を設置し、当日は多くの来場者の方々に楽しみを提供することができた。 県公民館連絡協議会主催の研修会に館長が、全国報徳サミット秦野市大会に運営協議会委員が参加することで、研修の機会を確保することができた。 自主事業等の情報については、館内掲示や館報、広報はだの、市ホームページへの掲載などにより広く発信し、周知することができた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	3			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			みんなで住みよいまちづくり運動推進委員会総会や、地区別市政懇談会、学校運営協議会等へ出席することにより、まちづくりの課題を地域や学校と共有することができた。 端午の節句と「武者絵のぼり・五月人形展」、古(いにしえ)の七夕飾り、十三夜のお月見飾り、オンベ竹と団子飾り、ひな人形展といった地域伝承行事を、地域の自治会や青少年育成部会、幼稚園及び小学校と協力し、実施することができた。 かみ放課後子ども教室については、指導者・補助者ボランティア調整会議を開催し活動内容を調整するとともに、小学校、市体育協会、青少年指導員と連携し、計画に沿って年16回、概ね予定どおり実施することができた。 夏休み期間中、空いている部屋を学習室として開放し、小・中学生の学習拠点として利用できるようにした。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	5			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	3			市中心地からは離隔地にあるなどの地区の特性を踏まえ、地域の方の利便性の向上と、市民が気軽に立ち寄れる施設となるよう利用者対応に努めた。 図書室では、季節ごとの壁面飾りの実施などの環境整備に努めつつ、新たに利用する新入園児に図書カードを案内し、貸出しをした。利用者との気軽なコミュニケーションをとることで、新着本の配架や紹介を適切に行うことができた。また、上小学校は唯一市内のどこからでも通学ができる特認校であり、下校する児童がバスを待つ間に安心して過ごせる待合室としての機能も果たしている。 調理室の給湯器を交換する等、日常の点検と修繕を行い、適切な維持管理に努めた。
	利用者への対応は適切か	5			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	5			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	

施設の総合評価

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

自己評価	評価	評価理由(取組と成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	利用状況等については、前年度と比べ同程度とすることが出来た。 自主事業の「kami・kami Art ～絵画と折り紙の壁絵展～」では、新たに、公民館まつり時に設けた折り紙コーナーでの作品や顔はめパネルを展示し、事業間の連携を図り充実することができた。引き続き、各事業の実施にあたりその充実に取り組む。 上公民館の特色でもある館内展示の、端午の節句と「武者絵のぼり・五月人形展」他4件は、季節に調和した地域の伝統行事に関するものとし、来館者の好評を得ることができた。引き続き、上地区の地域特性を生かし、地区の活性化に繋がるよう事業に取り組む。 市総合計画における地域まちづくり計画に掲げる目指すまちの姿(将来像)である「豊かな自然と交通環境が調和し、こどもから大人まで地域ぐるみの交流が盛んな魅力と活力あるまち」の実現に向け、地域と連携していく。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	上公民館の特色は、地域との結びつきを生かした事業展開と、伝統行事を伝承していくことにある。 そこで地域の伝統行事の展示をすることで来館者の目を楽しませていることや、四十八瀬川などの自然環境を生かした事業を実施する一方で、自治会連合会と連携した公民館まつりの開催、かみ放課後子ども教室の実施といった地域の人たちとの結びつきを強める事業にも、継続して取り組んでいることについて評価する。 また、館内の掲示物につき、他の公民館事業の案内を館ごとにまとめ、市や県、団体で分類するなど見やすさに工夫をしている。 これらの取組を継続するとともに、公民館施設は、市役所連絡所及び風水害時の避難所としての役割を担っていることから、計画的な設備更新を行い、その機能を適切に維持するようお願いする。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	人口の少ない地域で高齢化も進んでいるが、住民相互のつながりが強く、公民館まつりにあたっては、関係団体で実行委員会を設置し、1日ではあるが盛大に開催しており、社会教育活動の拠点として機能を果しているといえる。 この地区ならではの季節の伝統行事を幼稚園、小学校や地域住民と一体となって実施していることは、各種行事を後世に引き継ぐうえで意味のある活動であり、継続することを期待する。 「かみ放課後子ども教室」は、この公民館独自の取組である。地域の青少年指導員や体育協会などの団体と連携・調整し、学校教育とは異なった多種多様な活動を年間16回実施し、子どもたちの成長に大きな役割を果たしている。 また、四十八瀬川を中心とした野外活動の数々は、自然豊かな地域の特色を生かした良い取組であると思われるため、今後も積極的に取り組んで欲しい。 施設面では、館内の掲示物も公民館ごとにわかりやすく掲示され、利用者に対する職員の細やかな配慮が見受けられる。

令和8年度(7年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立渋沢公民館					
職員数		8名(内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	7.0Km ²	人口	17.0千人		
施設	開館年度	平成7年度		構造	RC造2階建地下1階		
	延床面積	1,467.15m ²		敷地面積	2,264.39m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■集会室 ■多目的ホール ■音楽室 ■創作活動室					
【単位:千円】		5年度 決算額	6年度 決算額	7年度 決算額	8年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	2,213	1,888	1,951	2,139		
	参加者負担金	33	41	42	41		
	軽印刷その他雑入	337	324	239	346		
	計	2,583	2,253	2,232	2,526		
支出	活動費(0101)		146	193	163	189	
	維持管理費(0102)		7,494	7,982	8,680	10,126	
	事務費 (0103)	人件費	10,580	12,966	15,402	16,587	
		その他	527	801	526	763	
	計		18,747	21,942	24,771	27,665	
	営繕工事費(0200)		29,313	0	3,899	63,680	R7 高圧引込設備等更新工事 R8 外壁補修工事
利用状況等	指標名		5年度 実績値	6年度 実績値	7年度 実績値	8年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	24,047	24,476	28,132	28,500	
		利用件数	1,927	1,947	2,094	2,100	
		利用日率	61.2%	61.4%	61.8%	63.0%	
	事業	事業日数	39	34	42	45	
		参加者数	1,903	2,069	3,468	3,700	
	図書室	利用者数	5,517	5,756	5,554	5,700	
	連絡所	住民票等取扱件数	1,760	1,664	1,377	-	
令和7年度方針		渋沢丘陵などの地域特性を活かし、季節感のある事業を行うとともに、地域の交流拠点として、子どもから高齢者まで、大勢の方々に来館していただけるよう、利用団体及び関係機関等との連携を図り、公民館活動を積極的にPRし、わくわく、生き生きできる公民館を目指す。					
令和7年度改善事項		ホームページの随時更新に努め、各種情報を積極的に公開した。また、写真を活用した自主講座のレポートを館内階段の壁面に掲示し、積極的なPRを行った。 自主講座では、地域の方々が事前申込不要で気軽に参加できる講座「渋沢レコードサロン」や、地域資源を生かした「渋沢地区湧水巡りと八重桜のハイキング」等を新たに開講し、夏休み学習室開放においては、空きスペースを活用して実施日を大幅に増やすなど、来館者の増加に努めた。 防犯のために閉鎖していた地下階出入口を、日中の時間帯に限り開放し、利用者の利便性向上を図った。雨漏りの影響で美観を損ねていた館内壁面に、職員手作りの覆いを施した。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取組と成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			地域住民や施設利用者の意見・要望を聴取するとともに、自主事業の参加者へのアンケート調査からも公民館運営に関わるニーズの把握に努め、渋沢丘陵、湧水、八重桜など地域の特性を生かした事業展開を行った。 年2回の公民館運営協議会においては、事業運営に係る協議に加え、地域課題、社会課題に対する積極的な意見交換が行われた。また、秦野市で開催された全国報徳サミットへの参加を案内、多数の委員の参加を得た。職員には各種研修の周知を徹底し、職員相互の情報交換により、効果的な事業運営や事務処理等の適正化を進めた。自主事業の広報は、引き続き広報はだのやホームページを活用し情報を発信、チラシのデザインを工夫し、視覚的にも訴えられるよう作成して館内に掲示、市内各館にも配布した。なお、子ども向け事業については、地域の小・中学校に情報配信を行い、PRに努めた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			まちづくりの拠点としての役割を果たすため、公民館利用団体及び地域団体と連携し、ニーズの把握に努め、事業運営を行った。公民館まつりでは、参加希望団体による発表、展示に加え、隣接することも園児のステージ発表、小学校児童の作品展示、中学生による音楽発表や美術作品の展示等を行い、さらに、まつりの当日運営に中学生ボランティアを依頼するなど、地域の交流の場としての意識高揚を図り、来館者からも好評であった。学校関係では、渋沢小・中学校学校運営協議会に参加、夏休みの学習室開放は、開放日の枠を広げ、地域の拠点として学習を伴う「居場所づくり」を継続するとともに、小学生対象に教育指導課が行う「しぶさわ学びっこCLUB」を開催した。 高齢者向けには、年間を通して、健康体操、音楽会、ゲーム等多様な交流事業を行う「渋沢ほっとサロン」をサポートし、地域の高齢者の健康、生きがいづくりに協力した。高齢者支援センターと連携した展示も好評であった。また、デジタルデバインド(情報格差)の解消を図るため、「スマートフォン教室」を開催、さらに施設予約システムの操作研修会を初開催した。 丘の上という地理的条件や高齢化等に伴う学習機会の減少に対する相談も多く、既存団体活動の紹介や自主事業の企画を積極的に行った。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	4			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			長年にわたり防犯のため閉鎖していた地下出入口は、日中に限り開放し、1日数回、職員による館内巡回の結果を掲示することで、利便性と安全性の両立を目指した。 利用者や地域住民等に積極的に声掛けを行うとともに、館内各所に季節ごとの壁面飾りを掲出、親しみやすさに加え四季折々の風情を演出した。予約システムの更新時期には、特に高齢者等スマートフォンに不慣れな利用者に対し、同システムの操作説明を丁寧に行い、他館の利用者からもお礼の言葉をいただいた。施設管理では、高圧引込設備更新工事を行い、表示が消えかかっていた駐車場停止線、「とまれ」表示や障害者用駐車スペースのピクトサインの更新、消防設備・電気時計修繕など、館内の安全、安心に向けた取組を着実にいった。また、より安全に利用していただくため、第3駐車場の駐車エリア明示や、入口カーブミラーの設置も行った。雨漏りにより、著しく美観を損ねていた館内壁面には、職員手作りの覆いを施し、気持ちよく利用していただけるよう努めた。
	利用者への対応は適切か	5			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	3			
	施設・設備は整備されているか	5			
	評価	4	5	4	

施設の総合評価

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

自己評価	評価	評価理由(取組と成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	公民館まつりでは、公民館利用団体の様々な工夫をこらした活動成果の発表や作品展示に加え、地域団体やこども園、小・中学校の参加協力を得て、地域交流の輪が広がり、大きな盛り上がりを見せた。「まつり」は地域が元気になる事業として今後も継続して実施したい。 夏休み学習室開放、しぶさわ学びっこCLUBの開催等、子どもたちの学習の拠点としての事業を行ったが、子どもたちからも、地域の施設として親しまれるよう、安全面に配慮した開放を行った。 施設管理面では、高圧引込設備等更新工事や、利用に支障のある故障個所の修繕に加え、駐車場の環境改善等、安全・安心な施設としての取組を積極的に進めるとともに、地下出入口の利用を再開、館内の定時パトロール結果を地下に掲示するなど、防犯を意識した管理も行った。 自主事業については、地域住民、利用者の意見を取り入れた新事業「渋沢レコードサロン」を年間5回開催。ボランティア講師により気軽に楽しめる講座として予想を上回る参加者となった。この事業は継続実施していきたい。また、全国報徳サミット秦野市大会関連事業として実施した親子陶芸教室は、報徳の学びと作陶を同時に体験できる企画として好評であった。 丘の上という立地条件から、来館をためらう高齢者も少なくないが、今後も大勢の方々に来館していただけるよう、引き続き、地域・利用団体等と連携し、子どもから高齢者まで「わくわく、生き生きできる公民館」となるよう、努力していきたい。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	公民館利用団体の活動成果の発表の場である「渋沢公民館まつり」が、公民館と利用団体の連携により開催されたが、地域団体、しぶさわこども園、渋沢小学校、渋沢中学校の参加により、多くの来場者でにぎわったことは、公民館を拠点として、地域住民と学校との結び付きを促すことができたと感じられる。 学校との連携においては、渋沢小・中学校学校運営協議会に参加し、情報を共有するとともに、夏休み学習室開放や「しぶさわ学びっこCLUB」において学習の拠点としての事業も実施している。また、高齢者対象には「渋沢ほっとサロン」が多様な内容で実施されており、スマートフォン教室等も継続している。さらに地域住民の要望を取り入れ、ボランティア主体で進める講座「渋沢レコードサロン」が開始された。住民ニーズ、特に高齢者に寄り添った事業展開は、今後も継続してほしい。 館内は、ホール入口や幼児室、図書室において季節ごとの壁面飾りにより、利用者に安らぎを与える、明るく親しみやすい雰囲気づくりが継続されている。 なお、利用時間に制限はあるものの、地下出入口を開放し、防犯のため館内パトロールを頻繁に行うなど、利用者の利便性向上に向けた取組が行われたことは評価できる。 引き続き、利用環境の整備を行い、渋沢丘陵や八重桜など地域及び地産特性を生かした事業を展開し、チラシやホームページ、SNS等を活用した事業PRに努め、生涯学習・地域学習の拠点として地域の方々が集う場となるよう渋沢公民館の活動を推進してほしい。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	令和7年度の事業レポートでは、多くの講座を開催していることが窺える。特に「渋沢レコードサロン」や「歌声ロマン渋沢」は多くの参加者があり、地域ボランティアとの協働により、交流と高齢者の生きがいづくりに効果がある事業として高く評価できる。今後もより工夫し継続されたい。 令和7年度、当市で開催された全国報徳サミットに向けた陶芸教室は、作陶の体験に加えて作品に報徳の教えを記すことで同時に学ぶことができる企画であり、講師の方の工夫を感じる。 施設が傾斜地に建設されたことから、地下部分の入口を利用できるようにし、警備面から職員が巡回を多くしたことや、雨漏りの痕が残る柱にカバーを取り付けるなど、利用者に優しい職員の心遣いは、高く評価できる。 公民館まつりにこども園の園児や小学生に加えて、新たに中学生が参加し、ステージ発表部門において歌・吹奏・踊りで大きく盛り上がりを見せた。大人から子どもまで地域の方々との交流が広がったことは、地域のつながりを深めることができる良い取組であり、自己評価にあるとおり今後も工夫・改善し継続されたい。

令和8年度(7年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立本町公民館					
職員数		8名(内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	6.0Km ²	人口	20.3千人		
施設	開館年度	平成8年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	1,613.58m ²		敷地面積	1,500.25m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■集会室A ■集会室B ■創作活動室 ■音楽室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		5年度 決算額	6年度 決算額	7年度 決算額	8年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	3,605	4,055	3,649	4,106		
	参加者負担金	141	174	234	229		
	軽印刷その他雑入	277	291	177	321		
	計	4,023	4,520	4,060	4,656		
支出	活動費(0101)	233	219	221	202		
	維持管理費(0102)	10,336	11,821	11,158	9,990		
	事務費 (0103)	人件費	10,237	13,121	15,402	16,587	
		その他	716	672	736	1,493	
	計	21,522	25,833	27,517	28,272		
	営繕工事費(0200)	20,652	2,720	10,686	0		
利用状況等	指標名		5年度 実績値	6年度 実績値	7年度 実績値	8年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	61,804	70,642	72,779	73,000	
		利用件数	4,375	4,675	4,576	4,600	
		利用日率	83.6%	89.1%	90.3%	91.0%	
	事業	事業日数	72	79	86	87	
		参加者数	7,672	8,885	8,584	8,600	
	図書室	利用者数	13,535	13,953	14,730	15,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	—	—	—	—	
令和7年度方針		- 生涯学習やコミュニティ活動の拠点として、地域の様々な団体や利用者などと連携、協働しながら、市民ニーズに合った事業の展開を図る。 - 多くの人に公民館活動を知ってもらえるよう、様々な媒体を活用して積極的なPRに努める。 - 市民ファーストを念頭に、迅速・親切・丁寧な職員対応の強化に努める。 - 中心市街地の立地や展示コーナーなど他館にない特色を生かし、誰もが気軽に集える公民館を目指し、市民活動・行政情報の提供や市民と行政の架け橋となるような運営を図る。					
令和7年度改善事項		市役所や外郭団体などの優先予約の受付業務フローを改善し、必要最低限の利用となるよう取り組んだ。 自主事業では、本町地区まちづくり委員会やイオン秦野ショッピングセンター、明治安田生命など地域や企業と連携し、地域活性化を目指した取組を積極的に展開した。また、募集人数の多い自主事業の受付に電子申請を導入し、少ない人数で迅速な受付運営に努めた。 施設面では、多目的ホールの緞帳設備を改修し、電動ステージはもとより組立てステージの利用においてもスムーズに開閉できるよう機能を拡張した。 消防特例認定のタイミングに合わせ、館内各所の整理整頓など災害時への取組を進めた。					

評価:5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取組と成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	5			公民館運営協議会からの意見等をはじめ、自主事業終了後のアンケート調査や窓口での来館者とのやり取りなどを通じて、市民ニーズの高い健康・音楽関連事業や市民提案の映画上映会を展開するとともに、クアーズテックカルチャーホール休館に伴う発表の場の提供を行った。 また、館長参加の公民館大会の内容や、先進事例の取組などを職員間で情報共有し、来客対応や事務処理の適正化に活用した。 自主事業の周知は、公民館ホームページ、館報、隣接の大型商業施設に面する窓ガラスへの大型周知物の貼付など従来の発信に加え、小中学校や幼稚園の保護者向け連絡ツール「totoru/コードモン」の活用や、電子申請による申込受付を行うなど、より広く知らしめる手法を取り入れ、幅広い参加を得ることができた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	5			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	5			まちづくりの拠点としての役割を果たすため、自治会やまちづくり委員会構成団体と連携し、地域課題を把握するとともに、各種団体が活動しやすい環境の確保に努めた。 自主事業の運営に当たっては、「ヒト・モノ・カネ」が限られている状況の中で、まちづくり委員会や地域企業の協力を得て、一般社団法人や文化人と協働したプラネタリウムや映画会など地域活性化に向けた事業に取り組むとともに、地域人材も積極的に活用し、インターネット・相続・健康・防災といった「生活・現代的課題」の解消に向けた事業を実施した。また、リピーターの多い事業はサークル化を促進し、複数事業を組み合わせたコラボレーション企画にも取り組んだ。 公民館まつりでは、館長が地域まちづくりコーディネーターを務め、末広小学校及び本町小中学校の運営協議会に参加するなど日ごろからの連携関係を基に、地域各種団体や教育機関も参加することから、利用団体の活動発表の場だけではない、市民の絆を深める交流の場となるような企画運営に努めた。 また、利用団体の活動も、他館にない展示コーナーの活用を積極的に促し、団体活動の成果を広める支援を行った。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	5			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	5			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	5			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	4			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	5			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	5	5	5	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			全公民館平均の約2倍の利用人数があり、中々予約が取りづらい状況の中、新規団体設立時には、より予約が取りやすい活動時間帯を案内するなど、親切丁寧な利用者に寄り添った対応を心掛けた。また、行政のサテライトとして、市民からの相談にも各課と連携し対応するなど、身近な頼れる場所であり続けられるよう努めた。 大型商業施設に隣接する立地を生かし、人通りの多い通路・ロビーには、様々な情報媒体や生け花など季節感ある展示物を掲出するなど、明るく気軽に立ち寄れる雰囲気・環境づくりを目指した。 図書室では、リファレンスを基にニーズに沿った図書入替を行うほか、「子どもまつり」を実施するなど子どもの読書活動を推進した。 施設整備では、多目的ホール絨帳新調、給水設備の修繕などを実施し、安全・快適な利用環境の維持に努めた。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	5			
	図書室は機能しているか	5			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	5	

施設の総合評価		
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)		
自己評価	評価	評価理由(取組と成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	第30回を迎えた「本町公民館まつり」は、第50回衆議院選挙と日程が重なり、投票所開設のため開催が危ぶまれたが、日頃から連携する利用団体・地縁組織・教育機関と開催方法の検討を行い、「子どもの部」と「大人の部」に分散することで、無事開催することができた。 令和6年度から始まった「はだの☆みんなでプラネタリウム」は経費がかかる大型事業であるが、令和7年度は本町地区まちづくり委員会と協働したほか、隣接のイオン秦野ショッピングセンターからも事業意義に共感いただき、県内の高校部活動を巻き込んだイベント「星フェス」を同時開催した。また、市制施行70年記念事業として、市民と協働でドキュメンタリー映画「黒澤明のライフワーク」の上映を行うなど、地域や企業等との連携を深め地域活性化に向けた事業を展開した。 前年度指摘された、施設稼働率の高さにより地域団体の利用が制限される懸念については、先行予約の市役所・外郭団体などの公的利用が必要最低限となるよう調整を進め、少しでも一般利用が確保できるよう努めた。 市民ファーストの丁寧親切な窓口対応をモットーに、公民館業務にとどまらず行政全般に関する問合せ相談にも対応できるよう、公共のお知らせの情報収集や職員相互の情報共有を深めた。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	地域の学びの場としての役割を果たすため、自主事業では積極的に地域資源や人材を活用するとともに、たばこ祭や市制施行70年という節目に合わせた映画上映会、本町地区まちづくり委員会やイオン秦野ショッピングセンターと協働した「はだの☆みんなでプラネタリウム」、秦野にかかわる著名な音楽家と連携した「アフタヌーンコンサート」「オペラ講座」など他館と差別化された市民ニーズや時代の要請に応じた事業を展開し、参加募集の電子申請の導入など、他館では見られない取組に果敢にチャレンジしていることは高く評価できる。 さらに、地域のまちづくり団体や企業、学校等との連携強化も積極的に進め、市内公民館唯一の展示コーナーの有効活用などを通じて、公民館利用の活性化を進めるなど人と人を結び、触れ合う、まちづくりの拠点としての役割も大いに果たしている。 施設利用への対応では、行政などの公的利用の増加に伴い一般利用の制限が懸念されたが、鋭意調整を図り、新たな施設予約システム導入に伴い本町公民館独自に利用者向けマニュアルを作成するなど利用者への利便を常に図っている。 また、窓口対応も、市民ファーストを念頭にいた「窓口三カ条」の徹底を図り、来館者に寄り添い親切な対応が行き届いている。多忙な職務の中でもOJTなどによる職員間の情報連携・研修も良く行われており、ここ数年本町公民館の運営は劇的に良くなっている。一方で他館と比べ事業や来館者が非常に多い中で、職員が対応に追われ、十分な休憩時間もとれない現状に触れ、働き方改革の面から早急に現状に沿った適正な人員配置が必要と考える。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	5	本町公民館は、立地的な利用のしやすさもあり、図書館を含め、利用者数、利用件数が本市の公民館のなかでも最も多く、生涯学習・地域コミュニティ活動の拠点としての役割を十分果たしている。 地区のまちづくり委員会、企業と連携した特色ある事業を実施され、イオンショッピングセンター、本町地区きれいなまちづくり委員会の協力を得て、人気の高い「はだの☆みんなでプラネタリウム」を経費を抑えて開催したことは職員の熱意のある対応の結果であると高く評価できる。また、オペラ講座など著名な音楽家を迎えてのイベントは、貴重な学習機会を提供しているといえる。 公民館まつりでは、地域団体の発表に加えて本町地区の幼稚園、こども園、小中高までの参加があったことで子どもから高齢者までの交流が図られ、まちづくりの拠点としての役割を果たしているといえる。 昨年の点検評価において、利用者が多いことから地区の利用に制限がかかるとの懸念があるという指摘があったが、利用時間を細かく調整する工夫により、隙間があれば利用できるよう実施したことで、さらに多くの市民が利用できるようになったことは職員の努力によるものである。 職員の働き方改革が浸透する中で、適正な人員配置が必要と考える。特に昼間の窓口対応が多いことから、人員増強の必要性が感じられ、早期の対応が望まれる。

令和8年度(7年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立南が丘公民館					
職員数		8名 (内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	3.0km ²		人口	11.0千人	
施設	開館年度	平成9年度		構造	RC造2階建地下1階		
	延床面積	1490.48m ²		敷地面積	2752.63m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■集会室 ■セミナー室 ■音楽室 ■創作活動室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		5年度 決算額	6年度 決算額	7年度 決算額	8年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	3,667	3,085	3,176	3,517		
	参加者負担金	55	48	27	26		
	軽印刷その他雑入	351	256	223	331		
	計	4,073	3,389	3,426	3,874		
支出	活動費(0101)		196	165	187	193	
	維持管理費(0102)		8,363	10,014	14,697	9,943	
	事務費 (0103)	人件費	10,663	12,660	15,402	16,586	
		その他	477	863	755	770	
	計		19,699	23,702	31,041	27,492	
	営繕工事費(0200)		26,567	23,652	10,686	0	
利用状況等	指標名		5年度 実績値	6年度 実績値	7年度 実績値	8年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	37,886	42,489	36,422	43,000	
		利用件数	3,460	3,570	3,584	3,700	
		利用日率	71.1%	75.6%	75.9%	77.0%	
	事業	事業日数	74	72	68	75	
		参加者数	2,619	2,946	3,713	4,000	
	図書室	利用者数	9,464	9,885	10,072	10,500	
	連絡所	住民票等取扱件数	3,678	3,179	2,751	－	
令和7年度方針		南が丘公民館では、地域住民の教養の向上、健康増進を図るとともに住民相互の交流を図るため、次の8項目のとおり令和7年度南が丘公民館運営方針を定めた。 ①地域に開かれた公民館を目指し、誰もが集い、学び合う環境の整備に努める。 ②地域の人びとの生活課題を解決するため、情報提供および学習活動への援助・助言に努める。 ③各種団体やサークル活動の支援に努める。 ④ロビーワークを重視した運営の展開に努める。 ⑤市内公民館との連携協働の強化に努める。 ⑥関係機関や地域の諸団体との連携協働の強化に努める。 ⑦施設の適切な維持管理に努める。 ⑧避難所として関係部署と連携し機能の充実に努める。					
令和7年度改善事項		南が丘公民館の利用者数はコロナ禍以降、順調に推移してきた中、令和7年度は多目的ホールと音楽室でLED照明更新工事を行い、利用休止期間があったため前年度を下回る結果となったが、全館のLED照明化が完了し、高効率・省エネルギーな施設運用が図れるようになった。 また、公民館まつりなど大勢の来館者が見込まれる事業開催時に、駐車場が不足している状況があったため、近隣にある市有地を第2駐車場として整備し開設した。さらに調理室の調理器具の更新など利用環境の改善を図った。 南が丘公民館最大のイベントである公民館まつりでは、屋外の模擬店を復活させ、まつりの雰囲気醸成に努めた。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取組と成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			利用者説明会での意見及び公民館運営協議会委員の意見を参考に、自主事業の見直しを図り、新たな事業を企画するなど充実に努めた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			令和7年度は公民館運営協議会を年2回開催し、対面開催や書面開催を通して適宜、委員に情報提供を行った。
	公民館職員の研修機会を確保しているか	4			また、公民館職員の資質向上を図るため、令和7年度は施設予約システムの操作研修に事務員が参加し、円滑な窓口サービスの向上に努めた。
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			さらに、公民館自主事業の実施にあたり、広報紙以外にも、公民館報(プロシード年4回)やホームページ、翔丘などで周知を図った。
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			また、各部屋の稼働率を向上させるため、新規事業や夏休みの学習室開放などを通して、空き室解消に努めた。
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	4			公民館利用団体、南地区きれいな住みよい町づくり運動推進委員会の構成団体、各自治会との連携を密にして、地域の拠点としての公民館づくりに努めた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			また、27回目を迎えた公民館まつりは、26団体・2,200名の参加を得て開催することができた。まつりの実行委員長に南が丘8自治会のブロック長を迎え、地域のイベントとして位置付けられるよう、引き続き連携を強化を図っていく。さらに、昨今のデジタル化のトレンドを捉え、スマホ講座など生活・現代的課題への対応に取り組んだ。
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			教育面では南が丘小中学校運営協議会や南が丘中学校区豊かな心を育む協議会、南地区教育懇話会を通して連携を図ることができた。また、元気づきクラブ子ども会との共催事業を月1回ペースで開催することで、異学年交流を通じた子どもたちの社会性醸成に貢献した。
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			毎年、利用団体一覧表を作成し、学習相談という形で公民館が利用団体と参加希望者との仲介役になり、登録団体は前年度から微増となっている。今後も情報提供を適宜行うなど工夫を凝らしていく。
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	3			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	4			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			公民館まつりや規模の大きな自主事業の開催時に駐車場が不足していたため、サンキッズ南が丘子ども園向かいの市有地を第2駐車場(18台)として開設した。また、小・中学校の駐車場を臨時駐車場として借用できるよう連携を図っている。
	利用者への対応は適切か	4			さらに、施設修繕では多目的ホール・音楽室・外構の照明をLEDに更新し、環境負荷の低減と省エネルギー化を推進した。調理室のガスコンロについても安全かつ適切に利用できるよう一部更新を行った。
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			館内ロビーの掲示物をより見やすく、わかりやすく発信するため、掲示板のレイアウト変更を行うなど、見やすく明るい雰囲気づくりに努めた。
	図書室は機能しているか	4			丁寧な図書室運営もあり、全公民館図書室中で2番目に多い貸出冊数と貸出人数となった。
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	

施設の総合評価

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

自己評価	評価	評価理由(取組と成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	公民館の利用者数は、コロナ禍前の平成30年度の利用者数5万人に向けて回復基調で推移してきたが、令和7年度はLED照明更新工事の影響により、一部の部屋を稼働できない時期があり、前年度実績割れとなった。引き続き、利用環境の向上や利便性向上を図りながら、地域ニーズにあった自主事業を展開するなど、南が丘公民館の魅力向上に向けた取組を推進していく。 主要な自主事業の「公民館まつり」については、利用団体相互の交流や地域連携を図り、地域の拠点施設としての役割を果たすため、屋外の模擬店開設などに取り組むことで、参加団体や参加者数を増やすことができた。 施設整備面では、狭あいとなっていた駐車場環境を改善するため、近隣にある市有地を活用して第2駐車場として整備・開設した。また、全館LED照明化を実現するとともに調理室の利用環境を改善するため、一部調理設備の更新を行った。 今後とも、公民館が地域の拠点としての役割を果たせるよう、利用者の高齢化に対応した公民館運営に努めるとともに、元気っ子クラブ子ども会や子ども食堂など、子育て支援の拠点施設としての役割を果たしていく。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	地域住民の教養の向上と健康増進を図り、地域住民の交流を促進することを目的に南が丘公民館運営方針を定め、丁寧な公民館運営に努めている。 特に昨年度、第2駐車場が整備され、これまで利用者が多かった際に駐車場が不足し、近隣の商店会駐車場に迷惑をかけていた状況が解消され、気持ちよく公民館を利用できるようになったことは評価できる。 また、文教地区の南が丘にある公民館として、図書室の利用者数と利用冊数が年々増加しており、全公民館中2番目の実績は、本離れが叫ばれる昨今、特筆すべきことと評価している。 さらに、公民館玄関付近の花き栽培など、来館者をもてなす雰囲気には溢れており、手作りの環境整備が評価できる。 一方で、登録団体間の連携強化などは自己評価も標準点となっており改善の余地がある項目なので、地域住民と利用団体のコーディネーター役である公民館が、点と点を線でつなぐような南が丘地区の発展に寄与する活動を、開館30周年を迎える来年度に向けて取り組むことを希望する。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	図書室の運営について、全公民館中2番目に多い貸出冊数と利用人数となったことは、地域の生涯学習の拠点として好ましい状況であり、特に子どものころから本に親しむことで国語力を養うことができるため、さらに多くの方の利用促進に努められたい。 大きな活動として、異なる年齢の子どもたちが「南が丘元気っ子クラブ」に加入し、毎月活動を継続している。特に、表丹沢野外活動センターにて「南キッズクラブ」と協働し青少年指導員が主体となって実施した活動は、南が丘・南両公民館長を含む、約40人の参加者があり、盛り上がりを見せた。 また、オカリナのコンサートは多くの団体が参加し、団体活動の発表の場として公民館の特色ある事業といえるので、今後も地域住民を含め多くの方に発信してほしい。 施設面では、第2駐車場を整備したことで、利用者、周辺住民の利便性の向上が図られ、評価できる。開館から30年が経過し、現状不具合はないが、設備の点検により故障する前の対応に努められたい。 利用者数の減は、施設の工事で利用できない期間があったことが要因であり、やむを得ないものと思われる。 公民館運営協議会委員研修の機会を工夫する必要があると考える。

令和8年度(7年度事業)公民館点検・評価シート

公民館名		秦野市立堀川公民館					
職員数		8名(内訳) 館長 1名 公民館職員 4名 図書職員 3名					
対象エリア		面積	1.0Km ²	人口	6.4千人		
施設	開館年度	平成16年度		構造	RC造2階建		
	延床面積	1,496.48m ²		敷地面積	2,430.76m ²		
	室名	■調理室 ■和室 ■集会室 ■音楽室 ■創作活動室 ■多目的ホール					
【単位:千円】		5年度 決算額	6年度 決算額	7年度 決算額	8年度 予算額	備考	
収入	施設使用料	4,161	4,186	4,111	4,600		
	参加者負担金	60	73	63	62		
	軽印刷その他雑入	234	222	204	266		
	計	4,455	4,481	4,378	4,928		
支出	活動費(0101)		191	195	186	166	
	維持管理費(0102)		12,838	9,545	9,650	11,309	
	事務費 (0103)	人件費	14,692	16,590	15,402	16,586	
		その他	552	743	592	804	
	計		28,273	27,073	25,830	28,865	
	営繕工事費(0200)		1,979	4,037	55,216	88,400	空調設備更新工事
利用状況等	指標名		5年度 実績値	6年度 実績値	7年度 実績値	8年度 目標値	備考
	利用 状況	利用者数	39,346	43,179	39,386	37,000	空調設備更新工事 6月下旬～10月下旬
		利用件数	3,912	4,077	3,774	3,500	
		利用日率	82.6%	82.4%	82.1%	83.0%	
	事業	事業日数	60	58	57	65	
		参加者数	988	1,038	981	1,000	
	図書室	利用者数	6,482	6,215	6,169	6,000	
	連絡所	住民票等取扱件数	3,365	3,293	2,278	—	
令和7年度方針		地域との連携を図り、地域に根ざした公民館を目指す。 ・生涯学習の拠点として、地域のニーズに合わせた自主事業を展開する。 ・学習成果の発表の場としての機能を大切にし、活動意欲を喚起する。 ・堀川小学校、ペコちゃんこども園等、地域の教育施設との連携を図る。 ・特に西・上地区の公民館との連携・協働に努める。					
令和7年度改善事項		・施設面では、外壁工事が終了し、安全な利用環境の整備に努めることができた。 ・ホームページの更新に意欲的に取り組み、利用者の方などに最新情報が伝わるように努めた。 ・多目的ホールの空調が故障し、夏の暑い時期に冷房が使用できず、部屋の使用制限を余儀なくされたが、冬の寒い時期については、関係機関と調整し、暖房器具を調達することで通常どおりの運用をすることができた。					

評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)

事業の評価項目		自己 評価	内部 評価	外部 評価	主な取組と成果
公民館運営について	公民館の運営に住民の意向を反映させているか	4			地域住民の情報拠点として明るく開放的な窓口を心がけてきた。また、公民館利用者説明会などで、利用者の意見や要望に耳を傾け、その意向を踏まえた施設の改善や自主事業の展開を図ることができたと考えている。 公民館運営協議会を年2回開催し事業運営に関わる協議を行い、多くの助言をいただいた。公民館の植栽の手入れなど、地域住民や利用者の方々の助言や手助けによって支えられてきた。 自主事業では、広報やホームページ、目につくポスターの作成等により効果的に情報の発信ができた。
	公民館運営協議会は主体的な活動をしているか	4			
	公民館職員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館運営協議会委員の研修機会を確保しているか	3			
	公民館の自主事業等が住民に発信されているか	4			
	評価	4	4	4	
まちづくり・学習の拠点について	まちづくりの課題把握はされているのか	3			公民館が地域の情報や交流の一助になるように、配布物や掲示物の配置に注意し、誰もが気軽に立ち寄りやすい場となるように心がけている。 堀川小学校のコミュニティスクール事業の関係では、その活動に対し、積極的に協力し、特に、夏季休業中は、子ども向けの講座や学習室の提供だけでなく、居場所づくりにつながるよう努めてきた。また、子どもたちの学習の成果の報告書やポスター等の掲示などの協力に努めた。 利用団体の代表者の方にコンサートや展示会の運営に参加していただいたり、自主事業などの講師を務めていただいたりすることで、利用者のニーズに沿った学びの場や学習成果の発表の場となるように務めてきた。
	事業への企画・運営に住民や関係団体は参加しているか	4			
	生活・現代的課題や地域課題の関する講座を実施しているか	4			
	地域の学校や関係機関・関係団体と連携協力はできているか	4			
	学習成果の活用、社会参加が図られているか	4			
	学習・地域活動グループ相互の連携が図られているか	3			
	幅広い情報の収集・提供をし、学習相談に応じているか	3			
	評価	4	4	4	
施設の利用について	施設の利用方法に住民は満足しているか	4			職員は、親切で丁寧な窓口対応や電話対応を心がけるとともに、進んで挨拶し、誰もが気持ちよく、そして気軽に利用できる公民館を目指した。 来館者を気持ちよく迎えることができるよう、公民館敷地内の植栽にも気を配ったが、まだまだ課題はある。 地権者の協力により、比較的近くに十分な臨時駐車スペースが確保できていることが利用団体・利用者の利便性につながり、利用者が多いことの要因とも思われる。 図書室は、定期的に子どもが喜ぶ掲示物を作るなど、親しみやすい雰囲気づくりに努めた。また、新着やおすすめの本の紹介を計画的かつ効果的に行うことができた。
	利用者への対応は適切か	4			
	住民が気軽に立ち寄れる環境や関係づくりができているか	4			
	図書室は機能しているか	4			
	施設・設備は整備されているか	4			
	評価	4	4	4	

施設の総合評価		
評価: 5大変よくできた(十二分) 4よくできた(十分) 3できた(普通) 2できなかった(やや不十分) 1まったくできなかった(不十分)		
自己評価	評価	評価理由(取組と成果の状況や今後の方向性などについて記載)
職 員	4	令和7年度の施設の利用状況は、7月に多目的ホールの空調が故障したことにより、夏場の暑い時期に冷房が使えず、利用者の方に多目的ホールの利用を再検討していただいたため、全体的には、利用者減になったと思われる。しかし、令和8年度には、空調の更新作業が行われるため、修理後は、利用者の数の回復を図っていく。 利用者の方の作品展やコンサートには、多くの参観者を迎えることができ、毎年、楽しみにしている方も多いようである。ただ、現状に満足せず、新たな参加団体の発掘など、工夫を重ねていきたい。 引き続き、安心安全な施設管理、そして、利用者や地域の方々の要望に対応した事業運営に努め、地区の人々に親しまれ、愛される公民館となるように努めていきたい。
内部評価	評価	評価に関する意見
運営協議会委員	4	長期にわたる外壁工事や暑い時期に多目的ホール空調設備の故障が発生するなど、公民館に対しては外部的なマイナス面が発生した割には、年度を通して、自主事業の確実な運営や利用状況の数字も昨年と遜色なかった。 また、職員が一丸となって、利用者が気持ちよく利用でき、気軽に立ち寄れる雰囲気づくりも良かった。そして、来館者や電話による問い合わせの質問に対し、真摯で丁寧に分かりやすく対応していた場面を実際に委員も目にしており、高く評価できる。
外部評価	評価	評価に関する意見
社会教育委員	4	ペコちゃんこども園と堀川小学校が近接しており、コミュニティスクール事業への協力や、子どもの作品展示、夏休み中の子ども向け講座等、周辺施設との連携により子ども向け事業の充実に努めていることは評価できる。また、幅広い年齢層にわたる地域団体と連携し、コンサート、子ども絵画・陶芸教室等、多様な事業を実施しており、住民同士が楽しんでいることも窺えた。 施設の入口のホールが広く感じられ、掲示物もよく整理されており、利用者の視点に立った分かりやすさと明るい雰囲気づくりに職員の配慮が感じられる。利用者の多い多目的ホールは空調設備の不具合により、猛暑の時期に利用に供することができず、利用者の減少につながったと思われる。しかし、冬場については、他施設等から暖房器具を調達するなど、対策を講じている。 公民館運営協議会委員の研修機会を工夫することを検討されたい。